

「新型コロナウイルス感染症」収束後の 展示会および B-to-B 商談イベント再開のための 世界的な枠組み

[2020年5月5日現在の暫定指針]

国際見本市連盟 (UFI)

目次

目的	2
見解表明	2
この枠組みの構築に参加した団体・個人および 業界の最善実践を含めるための将来的更新について	2
1. 序論：展示会再開の重要性	3
2. 展示会と他の大規模イベント・集会	4
3. タイムスケール（時間区分）	5
4. 安全な環境で展示会・見本市を開催するために 枠組みが推奨する措置	5
I. 催事スタッフと参加者の安全の確保	
II. 物理的な距離を取ることの実行	
III. 健康・安全施策の強化	
IV. 入場者コントロールの実践	
V. さまざまな措置の推奨と実行	
5. この枠組みの構築に参加した団体・個人および 業界からの支援	9

目的

この文書の目的は、「新型コロナウイルス感染症」収束後の、展示会および B-to-B 商談イベント再開のための明確な枠組みを明らかにすることである。

- 世界の展示会産業は、さまざまな展示会と見本市に参加するすべての人々の健康と安全を確保するために協力し合うことを誓約する。
- われわれは、合意された健康・安全基準を確実に実行することを基盤に展示会が再開されることを適切な関係機関が認めることを期待する。
- 展示会の再開は経済的な回復の原動力になるだろう。

見解表明

- 人々と事業**—展示会および催事産業というビジネスモデルの中心にあるのは人間である。つまり人々は、事業を行い、新しいことを学び、刺激し合い、出会うために集まるのである。
- 安全とコントロールされた環境**—人々の健康と安全は、これまでも現在も、展示会産業における最重要事項である。世界中で——規準を満たした展示会が開催されているところはどこでも——厳格な健康・安全基準が実践されているだけでなく、われわれはそうした措置を強化できる能力を持っている。
- 追加的な環境コントロール**—展示会においては、多くのその他の大規模イベントと違ってまず主催団体が基本的なフォーマット（形式）によって骨格を作り、すべての段階——入場登録から、会場到着と入場、展示会場・商談スペース・会議場における移動の仕方に至るまで——において入場者の行動を指示している。それだけでなく、展示会主催者にはさまざまなケータリングと衛生面での選択肢が与えられている。多くの展示会場は、展示会専用で作られており、しかも、展示会場がある地元当局の厳しい安全方針と国際的な安全基準に従って入場者を管理できるように設計されている。
- 展示会はビジネスを創造する**—展示会は、地域、国、世界中のさまざまな産業のための市場（いちば）であり、出会いの場である。展示会はまた、新型コロナウイルス感染症が収束したあとの経済回復を推進するための、きわめて重要な最速路といってよい。とりわけ、あらゆる経済活動のバックボーン（背骨）を形成する中小企業や、顔を直接見ることができる催事こそが最も大事な販売チャンネルと考える人たちにとって展示会は必要である。彼らが奉仕する産業にとってのみならず展示会はまた、地域の経済に貢献し、旅行・観光産業だけでなく、ホテル・レストラン・小売り、交通における収益を創出する。
- われわれの誓約**—経済・社会活動に対するこうした責任を榮譽と考えるわれわれは、展示会への扉をできるだけ早期に開くための準備を整えるとともに、新型コロナウイルス感染症が蔓延する現在における公衆衛生と、社会と諸国の経済的健全性との間の適切かつ確

実なバランスを取る所存である。

●**われわれの要望**—政治的意思決定者に対してわれわれは、安全な展示会のための積極的な枠組み作りに門戸を開くとともに、個別の規準を有する展示会をできるだけ早期に開催することを認めるよう希望する。

この枠組みの構築に参加した団体・個人

この枠組みは、展示会主催者、展示会施設、協力企業、展示会業界団体といった、展示会産業に関わるすべての団体・個人との意見交換を踏まえ、また彼らの支援を得ながら準備された。この枠組みの構築を支援した団体・個人はこの文書の末尾に掲載されている。

この文書に示されている枠組みは、以下の枠組みの中に示されるさまざまな分野のための最善実践例を収集する資料の作成に将来、役立てられることになっている。

1. 序論：展示会再開の重要性

この文書の目的は、「新型コロナウイルス感染症」危機への対応と収束時期における、現在検討中の展示会と B-to-B 商談イベントのための計画中の枠組みを、国内政府指示に沿いながら明らかにすることである。この文書に示されている枠組みは将来、枠組みの中に示されるさまざまな分野のための最善実践例を収集する資料の作成に役立てられることになっている。

すべての大規模集會に適用される無差別な規制は、現在のパンデミックが収束したあとの経済的な回復に後退的な影響を与えるとだろう。大規模集會にはさまざまな種類があり、目的もまたさまざまである。その点、展示会と B-to-B 商談イベントに参加する人々の主な関心は、事業を行い、情報を交換し、知識を共有・伝達することである。展示会参加者が、お互いに必要な距離を保ちながら彼らの事業目標を達成することは完全に可能である。展示会における人の密集度は、その他のタイプの大規模イベントに比べて低くすることが可能である。そう断言できる理由はいくつかある。例えば、多くの展示会は何日かに渡って開催されること、1つの展示会が占有するスペースはその他の種類のイベントよりもずっと広いことなどである。その結果、B-to-B 展示会は、「新型コロナウイルス感染症」危機が続く中でも安全に機能を継続しているスーパーマーケットやその他の小売り店と同様、管理・運営をうまく行うことができる。

むろん、この文書で述べているように、コントロールされた状況のもとで時機を得た形で展示会を再開するためには、計画段階からの安全性が不可欠である。このことを考えると、

政治家からの明確な指示は不可欠である。なぜなら展示会には数か月というリードタイム（準備期間）が否応なく必要だからである。

今後、世界の展示会産業は、かつて経験したことの無い産業的・経済的停滞の時期に続き、事業、業界、経済を再結合し再建する役割を果たしていこう。展示会産業の規模と比類の無い影響力は、2019年12月に刊行された「展示会産業が世界に与える経済効果」と題する報告書において立証されており、そこでは、世界全体の展示会産業の経済効果を年に1,670億ユーロと試算している。

この枠組みは、健康・安全に関する既存の手順・規制のための追加的役割を果たすとともに、WHOが発表した、大規模集会における公衆衛生側面に関する一般的な推奨事項を提供している「現在のCOVID-19のアウトブレイク環境におけるマスギャザリングの計画への主要な推奨事項」との関連で読むことが大切である。この枠組みはまた、すでに発表されていた「2009年インフルエンザパンデミック（H1N1）環境におけるマスギャザリング計画への暫定的検討事項」および、エボラ出血熱による影響を受けた国々の個人が参加した国際会議の内容の一部、改編している。

この枠組みは、展示会スタッフ、展示会業者、出展社、来場者の健康・安全リスクを最小化することを目的に、展示会の計画、管理、監視を支援するために設計されたものである。

注意深く計画・管理されない不特定多数の大規模集会には、公衆衛生上のリスクという可能性が伴うことを展示会産業はよく認識している。新型コロナウイルス感染症の蔓延という文脈において大規模催事は真っ先に中止されることになった。展示会産業は、展示会場を救急病院、検査施設、物流センター、医療従事者・ホームレスの人たちのための収容場所として利用できるようにすること、またその他の支援措置を講じることで現下の緊急事態に対応することを支持している。

この文書は、こうした指針を採用することで展示会を再開を自信を持って支持するために必要な規準を政策決定者に与えるだろう。

2. 展示会と他の大規模イベント・集会

イベントの評価はその種類によって行うべきであって、参加人数によって硬直的に行うべきではない。さまざまな経済的・社会的要因にとってあらゆる種類の催事がみな重要であるとはいえ、スポーツイベント、コンサート、あるいはフェスティバルなどと展示会を比べることはできない。ここにおいても、的を絞ったやり方でさまざまなイベントを区分することが意思決定者に求められる。

UFI とこの枠組みは、展示会、展覧会、見本市を ISO25639-1:2008 (E/F)に従って「製品、サービス、情報を展示し広める催事」と定義する。

展示会は、「会議」「コンベンション」「セミナー」、またはその他のビジネス・消費者向けイベントと異なる。展示会にはフリーマーケット、ストリートマーケットは含まれないが、次のものは含まれる。

売買展示会：売買・商取引を促進し、主に商取引を目的とした入場者が参加する展示会。売買展示会は、特定の時間に一般消費者の入場が許可されることがある。

一般展示会：主に一般大衆を対象に開かれる展示会。一般展示会は「消費者向け展示会」とも呼ばれる。

会議：組織的に行われる公的な会合、または、共通的な関心を持つグループに属する代表者グループから成る連続した会合で、さまざまな問題、考え、方針などが討論される。

コンベンション：知識や経験を共有するために業界、専門職、または団体が組織的に行う会合。

[注意] コンベンションは「コンGRES」と呼ばれることがある。

3. タイムスケール（時間区分）

現在、いくつかの国から、新型コロナウイルス感染症によって決められたさまざまな規制を段階的に緩和するための措置——接客・旅行に関する規制の撤廃、必須ではない事業の開始、国境の開放など——が発表されている。

展示会施設と展示会主催者は今後、展示会の再開のタイムスケジュールについて地元当局と協議・連携することになるだろう。

4. 安全な環境で展示会・見本市を開催するために 枠組みが推奨する措置

[注意]

この枠組みに挙げているさまざまな措置はすべて、コントロールされて安全な環境で展示会を主催することを目指したものである。今後、展示会産業に関わる人たちがそれらを考慮し改編し、そして実行するとともに、特定の地域における最善実践例が加えられて更新されることになるだろう。

すべての展示会関係者を保護するため、構築（計画段階）、展示会そのもの（運営段階）、展示会以後（展示会後評価）において、次のようなさまざまな対策が講じられることになっている。

- I. 催事スタッフと参加者の安全の確保
- II. 物理的な距離を取ることの実行
- III. 健康・安全手段の強化
- IV. 混雑コントロールの実践
- V. さまざまな措置の推奨と実行

I. 催事スタッフと参加者の安全の確保

	計画段階	運営段階	終了後
①リスク分析を実施する	○		
②感染防止資材をうまく使う （マスク、消毒ジェル、使い捨て ティッシュの提供など）	○	○	○

II. 物理的な距離を取ることの実践

	計画段階	運営段階	終了後
①障壁を設け、またすべての行列と共用 スペース（玄関ホール、レストラン、 ケータリング店、トイレなど）のための 空間規制を示すために床に印を付ける	○	○	○
②ブースや通路間の人の流れを確保する ために十分な距離を取る	○	○	○
③サイドイベントにおいて物理的距離を確保 するために会議スタイルのレイアウトを 検討する	○	○	

III. 健康・安全手段の強化

	計画段階	運営段階	終了後
①入出管理と健康診断（検温の一元化など）	○	○	○
②健康診断を受けていない展示会関係者との協働を定めた指針（隔離区域の設置、地元 保健機関への通知など）に従って働く	○	○	○
③共用スペースの清掃、衛生、消毒を確実にを行う	○	○	○
④専用の手洗い・消毒場所を設ける	○	○	○
⑤密着禁止措置を行う（握手を止め代替的な挨拶の仕方を検討する、非接触的支払い方法を推奨する、出展社と入場者が安全に交流するための専用スペースを設ける、など）	○	○	○
⑥換気の行き届いた展示施設・ホール、および換気・空気清浄設備の付いたその他の施設を整える	○	○	○
⑦廃棄物回収の頻度を変更する	○	○	○
⑧出展社の展示ブース、展示物、販促物（電子化が望ましい）の清拭・消毒を徹底する		○	

IV. 混雑コントロールの実践

	計画段階	運営段階	終了後
①出席者の流れを管理する（入場ルート の監視、行列スペースと入り口、イベント のための各エリアの分離、アクセスの 管理など）	○	○	○

- ②展示会場での接触を減らすために登録手順・
展示作業管理を変える（オンライン登録の
推奨、入場バッジを自宅で印刷する、など） ○
- ③会場内における展示会関係者の数を管理する
（展示設営と撤去に要する時間を減らす
ために展示スペース・デザインを合理化・ ○ ○
簡素化する、設営・撤去のための時間を
増やす、など）
- ④会場内における入場者の数を管理する
（展示会安全責任者の提案に従って展示
面積に基づいて入場者を減らす、チケット
の販売日時を限定する、など） ○
- ⑤物理的距離を保つために出前サービスを活用
するとともに追加的な衛生手段を講じる
（距離を保つためのテーブルを飲食店内に
置く、飲食スペースを減らす、ビュッフェ
方式の飲食スペースを廃止する、弁当式の
食事を提供する、など） ○

V. さまざまな措置の推奨と実行

	計画段階	運営段階	終了後
①誰もができる展示方法と清拭措置を講じる	○	○	○
②すべての展示会関係者に共通する義務・ 責任を明確に定義する法的枠組みに 沿って働く	○	○	○
③地元当局と直接的なコミュニケーションを 確立・維持する	○	○	○
④医療サービス拠点を設ける（医療支援、 患者の取り扱い、治療・臨床支援、 患者の搬送と治療、医療廃棄物管理など）	○	○	○

- ⑤流行拡大防止に関する訓練を行う
 (殺菌剤使用スキルをマスターする、
 共用スペースと救急資材の清拭など)
- ⑥登録内容の詳細を展示会場で確認する
 とともに必要に応じて保健機関への通知
 手順を管理する
- ⑦新しい情報の源に注意するとともにそれに
 従って手順を確立する(地元ニュース、ポッド
 キャストを追跡するためのチームを指名し噂の
 コントロールを実践する、流行拡大の防止・
 コントロールのための機序を確立する、など)
- ⑧現場における懸念を特定するための手順を
 管理し、すべての参加者からのさまざまな
 質問に答える(ホットラインの開設など)
- ⑨集団の動きをリアルタイムに監視し、それに
 応じた行動機序を確立する(展示会参加者を
 追跡するためにリストバンド、ヒートマップ
 などの最新技術を使う、など)

5. この枠組みの構築に参加した団体・個人および 業界からの支援

以下に示す団体は、この枠組みを準備しそれに同意したタスクフォースの一部である。い
 ずれも、展示会産業を代表する世界的企業・団体である。

[展示会主催企業]

Clarion Events
 Informa Markets
 Reed Exhibitions
 Tarsus Group

[主催者および展示会施設]

Corferias
 Dubai World Trade Centre

Fira de Barcelona
GL Events
Koelnmesse
La Rural
Grupa MTP
RAI Amsterdam
The NEC

[展示会施設]

Hong Kong Convention and Exhibition Centre
Johannesburg Expo Centre
MGM Resorts International
Shanghai New International Exhibition Centre
Shenzhen World Exhibition & Convention Centre

[展示会団体]

AEO – Association of Event Organisers
AEV – Association of Event Venues
AFIDA – Asociacion Internacional de Ferias America
AUMA – Association of the German Trade Fair Industry
EEIA – European Exhibition Industry Alliance
ESSA – Event Supplier and Services Association
IELA – International Exhibition Logistics Association
IFES – International Federation of Exhibition & Event Services
SISO – Society of Independent Show Organisers
TCEB – Thailand Convention and Exhibition Bureau

[展示会協力企業]

Freeman
GES
GL Events